

新副院長就任のお知らせ

3月より、診療部長・皮膚科部長の布袋祐子が副院長に就任いたします。これにより副院長3名体制で、より一層地域医療に貢献してまいります。

ご挨拶

現場の声を生かしながら、業務の効率化に取り組み、「患者さん」に寄り添う医療」を推進してまいります。

この度2020年3月1日付で副院長を拝命しました布袋祐子でございます。私ですが、05年に皮膚科部長として当院に入職いたしました。その後、09年に診療部長兼医局長の任を受け、さらに17年からはTQM (Total Quality Management) 推進部長として、医療の質や業務効率化を主とした仕事にも携わっております。



副院長・診療部長・皮膚科部長・TQM推進部長
布袋 祐子 (ふてい ゆうこ)

1992年慶應義塾大学医学部卒業
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
慶應義塾大学皮膚科学教室非常勤講師

質の高い、安心安全の医療を提供することを日々心がけ、総合病院ならではの役割、地域との連携、さらに院内におきましては病院と現場の橋渡し役を意識しながら、お仕事をさせて頂いており、これからもその姿勢を崩すことなく微力をつくして参る所存です。

現在、当院で力を入れております「業務改善・効率化」ですが、定型事務作業をRPA・AI・OCRなどの活用で自動化するプロジェクトを行っております。

これにより、我々医療従事者が本来重きをおくべき「患者さんに寄り添う医療」に、より多くの人員・時間を充てることが可能となります。患者さんの満足度の向上のみならず、当院の職員のやりがいにもつながり、最終的には地域のお役にも立てるのではと大きな

期待を寄せております。

杉並区の急性期医療を担っている中核病院としての役割をしっかりと果たせるよう、今後も地域の皆様のお力添えを頂きながら、日々精進して参る所存です。

今後もしもご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

当院のRPA導入について

RPAはRobotic Process Automationの略称で、PC上で行われる文章の転記や入力等の事務作業をロボット（ソフトウェア）が代行する仕組みを指し、2020年2月に当院で導入を行いました。

RPAはヒトが行っている事務作業をソフトウェア上にシナリオ化する事で稼働します。現在、事務部門と看護、コメディカルの各部門で運用を開始しました。さらに同時期に導入したAI-OCRは手書き書類をデータ化できる機能を持っており、RPAと組み合わせると効果の拡大を図れるよう使用方法の検討を行っています。

今回の取組みが医療界でのデジタルツール活用の嚆矢となる事を期待しております。

**第35回 荻窪循環器カンファレンス（3月9日）
第6回 荻窪病院内科カンファレンス（3月17日）
開催中止のお知らせ**

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、すでに病院ホームページやチラシでお伝えしておりました右記の2つのカンファレンスの開催を中止とさせていただきます。多くの先生方からお申し込み

をいただいていた中、大変残念ではありますが、先生方医療者の安全を第一とする判断となりました。状況が落ち着き次第、開催のお知らせを当欄や病院ホームページでお知らせしてまいります。

小児科

「成長ホルモン分泌刺激試験」を開始します

20年3月より、入院（2泊3日）による「成長ホルモン分泌刺激試験」を開始します。低身長症が疑われる患者さん、また低身長を心配されている方がおられましたら、ぜひご相談ください。

小児科では、日帰り入院による「食物経口負荷試験」や、

オマリズマブ（一般名）による季節性アレルギー性鼻炎（花粉症）の治療も開始しました。併せてご紹介のほど、お願い申し上げます。



第12回 荻窪消化器カンファレンスを行いました

座長に林医院・稲葉貴子院長をお迎えし、2月3日（月）に新東京会館にて『第12回 荻窪消化器カンファレンス』を行いました。当日は多数の開業医の先生にお越しいただき、左記の3題の講演、また後半の懇親会も盛況となり感謝申し上げます。



内視鏡外科長・消化器内科医長
林 量司
機能性消化管障害について
～診断から治療まで～



外科医長 **吉川 貴久**
鼠径ヘルニア～基礎から急性
腹症に対する外科的治療～



消化器内科医長
池谷 仁美
炎症性腸疾患の治療戦略

医療法人財団 荻窪病院 地域連携室

TEL **03-3399-0257** FAX **03-3399-0258**

月～金 8:30～18:30 土 8:30～12:00 〒167-0035 杉並区今川 3-1-24

<https://www.ogikubo-hospital.or.jp/>